

## 題:『いのちのパンを水に投げよ』

2025/6/18 奨励：松並徹治

### 伝道者の書 11 章 1 節

「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。」

皆さん、こんにちは。

今日は、「いのちのパンを水に投げよ」という題で、伝道者の書 11 章 1 節から、イエス・キリストの十字架と福音の真理をご一緒に学んでいきたいと思います。

この聖書の言葉、「あなたのパンを水の上に投げよ」。

最初に聞いたとき、私は正直、「え？ 水の上にパンを投げたら、どうなるんだろう？」と思いました。

パンは大切な食べ物です。それを水の上に投げる。

戻ってくるかどうかもわからない。無駄になるようにさえ思えます。

でも、この言葉は、ただの生活の知恵ではありません。

これは、イエス・キリストの十字架の姿を、旧約聖書の中に預言的に映し出している言葉だと、私は受け止めました。

**1. パンとは、何を意味しているのでしょうか。それは、裂かれたイエス・キリストのいのちです。**

イエスさまは、ヨハネの福音書 6 章でこう言われました。

「わたしがいのちのパンです。…天から下って来た生けるパンを食べるなら、その人は永遠に生きます。わたしが与えるパンとは、世のいのちのための、わたしの肉です。」

パンとは、キリストご自身のいのち。

十字架で裂かれ、与えられたそのいのちです。

神は、そのいのちを「水の上」に投げた。」——  
それは、この罪に満ち、混乱し、神に逆らうこの世の中に、  
ご自分の御子を投げ出されたということです。

## **2. 水の上とは、何を意味しているのか。—この世の混乱と闇のことです。**

聖書で「水」は、よく混乱や不確実、あるいは死の象徴として使われます。  
創世記 1 章には、「地は形がなく、空しく、闇が大いなる水の上にあった」とあります。

神は、まさにその「水の上」、  
つまり私たちの罪のただ中に、御子イエスを投げ出されたんです。  
罪人の手に渡し、十字架にかけられることを、神はゆるされました。

十字架のその時、人々は言いました。  
「彼がキリストなら、自分を救ってみろ」と。

でもイエス様は、救おうとされなかった。  
なぜなら、私たちを救うために、ご自身を完全に投げ出されたからです。

## **3. ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。**

その時は、十字架の死で終わったように見えました。  
でも、神の計画は終わっていなかった。

「ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。」

その言葉どおりに、三日目にイエスはよみがえられました。  
そして今、その復活のいのちは、世界中に届いています。  
2000 年経った今も、イエスさまの十字架のいのちは、  
人々の魂を潤し、癒し、救いに導いています。

## **4. 私たちも、キリストのパンを届ける者に**

愛する皆さん。

私たちは今、このイエス・キリストという「いのちのパン」を、  
この世に届ける使命をいただいています。

見返りがなくても、届かないように見えても、  
信仰によって「パンを水の上に投げる者」となるよう、主は私たちを招いておられます。

福音を語ること、祈ること、仕えること——  
それは時に、無駄のように思えるかもしれません。  
でも、十字架もそう見えました。  
それが、世界で最も深い愛の現れだったのです。

## **5, 結論**

「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。」

この言葉は、神ご自身がまず、  
ご自分のパン——イエス・キリストを、この世に投げてくださいったということを語っています。

だから、私たちも信じて、投げましょう。  
見えないところに。届くかどうかわからない場所に。  
でも、主が言われるなら、そこに投げる価値があるのです。

神は、あなたの捧げたそのパンを、決して無駄にはされません。  
主の時に、必ず、いのちの実が結ばれます。

今日も、その信仰に立って、  
主のパン——福音のいのちを、この世に投げてください。